AGAROOT
ACADEMY

難関資格の最短ルート、
アガルート

受講相談限定

最短合格
学習ガイドブック

行政書士試験

行政書士試験

合格ハンドブック

AGAROOT ACADEMY

目次

はじめに：学習を始める前のあなたへ

- 本書（合格ハンドブック）の歩き方
- 行政書士試験 合格に向けたマインドセット

第**1**部：行政書士試験の全体像と学習の基本戦略

1. 行政書士とは
2. 行政書士試験の概要
3. 試験科目と配点
4. 合格に向けた学習戦略の要点
    - 4.1 学習時間と基本サイクル
    - 4.2 科目別の攻略法
    - 4.3 近年の出題傾向と応用力の強化

第**2**部：合格へ導く講座戦略とサポート

- **Step 1**：基礎力養成期（ウォーミングアップ～基礎知識のインプット）
    - 全体構造編
    - 入門総合講義
- **Step 2**：実践力・応用力養成期（アウトプット訓練と知識の深化）
    - 短答過去問解説講座
    - 記述過去問解説講座
    - 逐条ローラーインプット講座
    - 『他資格択一80』解説講座
    - 基礎知識・時事オールインワン講座
    - 文章理解対策講座
- **Step 3**：実力完成・総仕上げ
    - 模擬試験

第**3**部：合格後のキャリアと実務

1. 独立開業行政書士
2. 勤務行政書士（補助者）
3. 先輩合格者の声
4. 合格後に必須となる「実務能力」

はじめに：学習を始める前のあなたへ

本書（合格ハンドブック）の歩き方

このハンドブックは、アガルートアカデミーのカリキュラムと連動し、あなたの学習を合格までナビゲートするための「戦略地図」です。学習を始める前にまず全体を読み通し、合格までの道のりの全体像を掴んでください。その後は、学習の進捗に合わせて該当するページを繰り返し参照し、ご自身の現在地と次の目標を確認するために活用しましょう。

行政書士試験 合格に向けたマインドセット

大切なのは、「完璧主義」を捨てることです。満点を目指す必要はありません。合格基準点を確実に超えるための学習を、淡々と、しかし着実に積み重ねていく。その強い意志が、あなたを合格へと導きます。この長い道のりを、私たち講師・スタッフ一同が全力でサポートします。

第1部：行政書士試験の全体像と学習の基本戦略

1. 行政書士とは

行政書士は、行政書士法に基づく国家資格者です。「街の法律家」として、個人や企業の依頼を受けて、官公署に提出する許認可等の申請書類（1万種類以上）の作成・提出代理や、権利義務・事実証明に関する書類（契約書、遺言書など）の作成、それらに関する相談業務を行います。独立開業しやすく、定年もないため、専門性を活かして長く活躍できる将来性のある仕事です。

2. 行政書士試験の概要

- 受験資格: 年齢、学歴、国籍を問わず、誰でも受験可能
- 試験日: 毎年1回、11月の第2日曜日
- 試験時間: 午後1時～午後4時（3時間）
- 受験申込期間: 7月下旬～8月下旬頃
- 合格発表: 翌年1月下旬

近年の試験結果

年度	申込者数	受験者数	合格者数	合格率
令和5年度	59,460人	46,991人	6,571人	13.98%
令和4年度	60,479人	47,850人	5,802人	12.13%
令和3年度	61,869人	47,870人	5,353人	11.18%
令和2年度	54,847人	41,681人	4,470人	10.72%

令和元年度	52,386人	39,821人	4,571人	11.48%

- 合格基準: 以下の3要件をすべて満たすこと。
    1. 法令等科目で122点以上（244点満点中）
    2. 基礎知識科目で24点以上（56点満点中）
    3. 試験全体で180点以上（300点満点中）

3. 試験科目と配点

【法令等科目】（合計**244**点）

- 基礎法学: 5肢択一式 (2問) / 8点
- 憲法: 5肢択一式 (5問)、多肢選択式 (1問) / 28点
- 行政法: 5肢択一式 (19問)、多肢選択式 (2問)、記述式 (1問) / 112点
- 民法: 5肢択一式 (9問)、記述式 (2問) / 76点
- 商法・会社法: 5肢択一式 (5問) / 20点

【基礎知識科目】（合計**56**点）

- 一般知識、行政書士法等、情報通信・個人情報保護、文章理解: 5肢択一式 (14問) / 56点

【総合計】

- 合計問題数: 60問
- 合計配点: 300点
- ※特に配点の大きい行政法と民法が最重要科目です。

各科目の学習内容

- 基礎法学: 法律全体の基本的な考え方や用語、裁判制度などを学ぶ、すべての法律学習の土台となる科目です。
- 憲法: 国の最高法規であり、国民の権利や自由（人権）、国会・内閣・裁判所といった国の統治の仕組みについて定めた法律です。
- 行政法: 国や地方公共団体といった「行政」の組織や活動に関する法律の総称です。許認可や国民と行政との間のトラブル解決ルールなど、行政書士の実務に直結する最重要科目です。
- 民法: 人々の日常生活や経済活動に関わる私的なルールを定めた法律です。契約、不動産、家族（相続など）といった身近なテーマを扱いますが、学習範囲が非常に広く、行政法と並ぶ最重要科目です。
- 商法・会社法: 商売のルールである「商法」と、会社の設立や運営に関するルールである「会社法」を学びます。
- 基礎知識: 「政治・経済・社会」「情報通信・個人情報保護」「文章理解」の3分野から出

題されます。現代社会を生きる上での幅広い知識や読解力が問われます。

4. 合格に向けた学習戦略の要点

4.1 学習時間と基本サイクル

行政書士試験の合格に必要とされる学習時間は、一般的に**800〜1000**時間です。この長期間の学習を乗り切るためには、計画性が不可欠です。学習の基本は、「講義を聴く・テキストを読む（インプット）」と「問題を解く（アウトプット）」のサイクルを高速で回すこと。この繰り返しによって、知識は単なる情報から「使える武器」へと変わっていきます。

4.2 科目別の攻略法

- 最重要科目：民法・行政法を制する
  - 民法と行政法の2科目だけで、法令科目全体の配点の約**6**割を占めます。この2科目の出来が合否を直接左右すると言っても過言ではありません。学習時間の大半をこの2科目に充てる意識で、重点的に取り組みましょう。
- 記述式：合否を分ける重要ポイント
  - 配点が大きく、対策の有無で大きく差がつくのが記述式です。決して「捨て科目」にはせず、早い段階から対策を始めましょう。過去問は最高の教材です。どのような形式で、どのレベルの知識が問われるのかを分析し、**40**字程度で簡潔にまとめる練習を繰り返すことが合格への鍵です。
- 判例学習の重要性
  - 条文知識だけでは対応できない問題も多く出題されます。判例を学ぶことで、法律が具体的な事案でどのように解釈・適用され、結論に至るのかという「生きた法」の流れを理解できます。この理解が、条文知識を深め、応用力を高め、合格をぐっと引き寄せます。
- 一般知識等：確実な得点源と足切り対策
  - 出題範囲が広く、対策しにくいと思われがちですが、政治・経済・社会の基本事項や情報通信・個人情報保護、文章理解など、対策すれば安定して得点できる分野も多く含まれます。合格基準には「足切り（56点中24点以上）」が設定されているため、油断は禁物です。確実に基準をクリアし、得点源とすることを目指しましょう。

4.3 近年の出題傾向と応用力の強化

近年の本試験では、単なる暗記では太刀打ちできない現場思考型の問題が増加傾向にあります。過去問の焼き直しではない、未知の問題に対応する応用力を養うことが重要です。そのためには、過去問演習に加えて、他の法律系資格試験の問題に触れておくことも非常に効果的です。多様な角度からの出題に慣れることで、本番での対応力が格段に向上します。

第**2**部：合格へ導く講座戦略とサポート

アガルートアカデミーが提供する講座ラインナップです。学習段階に合わせて各講座の役割を理解し、ご自身の戦略地図を描きましょう。

Step 1：基礎力養成期（ウォーミングアップ〜基礎知識のインプット）

全体構造編

- 獲得目標: 各法律の目的や全体像を理解し、今後の本格的な学習にスムーズに入っていくための土台を築きます。
- 標準学習時間: 講義約3時間。1日1〜2時間の学習で約2〜3日。
- 具体的な学習方法: まずは肩の力を抜いて、全体を視聴することから始めましょう。難しいと感じても立ち止まらず、各科目のイメージを掴むことを最優先してください。ノートを取るよりも、講義で示される図やイラストに注目し、法律学習の全体像を大まかに把握することに集中します。

入門総合講義

- 獲得目標: 行政書士試験の合格に必要となる全ての知識をゼロからインプットし、択一式・記述式問題に対応できる基礎力を確立します。
- 標準学習時間: 全科目合計で講義約207時間。1日1〜2時間の学習で約5ヶ月〜7ヶ月。
- 具体的な学習方法: 講義を視聴したら、必ず該当範囲の過去問をすぐに解くことを習慣づけてください。インプットとアウトプットを1セットとして学習を進めることで、知識の定着率が飛躍的に向上します。特に、配点の大きい民法・行政法は重点的に時間をかけ、理解が難しい部分は繰り返し視聴しましょう。

Step 2：実践力・応用力養成期（アウトプット訓練と知識の深化）

短答過去問解説講座

- 獲得目標: 過去問を完璧にマスターし、択一式問題で確実に得点できる能力を身につけます。
- 標準学習時間: 講義約70時間。1日1〜2時間の学習で約1.5ヶ月〜2ヶ月。
- 具体的な学習方法: まずは自力で問題を解き、その後すぐに解説講義を視聴します。1周目は、なぜその選択肢が正解（または不正解）なのか、理由を理解することに重点を置きます。2周目以降は、正解の理由だけでなく、他の選択肢がなぜ誤りなのかも自分の言葉で説明できるレベルを目指し、知識の精度を高めていきましょう。

記述過去問解説講座

- 獲得目標: 記述式問題において、短時間で正解を導き出すための思考法と答案作成技術を習得します。
- 標準学習時間: 講義約12時間。1日1〜2時間の学習で約1〜2週間。
- 具体的な学習方法: 講義で示される「3つの出題パターン」を意識しながら、まずは解答の型を学びます。その後、実際に自分の手で答案を作成する練習を繰り返してください。完璧な文章が書けなくても、問題文からキーワードを拾い、解答の骨子を組み立てる訓練

が重要です。

逐条ローラーインプット講座

- 獲得目標: 条文を深く理解し、本試験で問われる詳細な知識にも対応できる能力を養います。
- 標準学習時間: 講義約80時間。1日1〜2時間の学習で約2ヶ月〜3ヶ月。
- 具体的な学習方法: 講義で示されるS・A・Bのランク付けを参考に、メリハリをつけて学習を進めます。特にS・Aランクの条文は、単に暗記するだけでなく、その条文がどのような場面で使われるのかを意識しながら読み込みましょう。チェックペンなどを活用し、視覚的に記憶に残りやすい工夫をするのも効果的です。

『他資格択一**80**』解説講座

- 獲得目標: 択一式問題への万全な対策を整え、合格をより確実なものにします。
- 標準学習時間: 講義約35時間。1日1〜2時間の学習で約1ヶ月。
- 具体的な学習方法: 行政書士試験の過去問だけでは触れられない、応用的な論点や未知の問題への対応力を養うことを目的とします。初見の問題にどうアプローチするか、思考プロセスを学ぶ意識で取り組みましょう。間違えた問題は、なぜ間違えたのかを分析し、関連する基本知識を総合講義のテキストで確認することが重要です。

基礎知識・時事オールインワン講座

- 獲得目標: 一般知識科目で安定して高得点を獲得する能力を養い、基準点（足切り）をクリアし、得点源とすることを目指します。
- 標準学習時間: 講義合計約63時間。1日1〜2時間の学習で約1.5ヶ月〜2.5ヶ月。
- 具体的な学習方法: 出題範囲が広いため、深入りは禁物です。講義で指摘される頻出分野や重要ポイントに絞って効率的に学習します。特に、情報通信・個人情報保護や、ニュース検定で扱う時事問題は得点源にしやすいため、重点的に時間を割きましょう。過去問演習を通じて、どのレベルの知識が求められているかを把握します。

文章理解対策講座

- 獲得目標: 文章理解を得意科目にし、安定した得点源とすることを目指します。
- 標準学習時間: 講義約5時間。1日1〜2時間の学習で約1週間。
- 具体的な学習方法: 講義で解説される4つの問題形式ごとの「解き方」をマスターすることに集中します。時間を計って問題を解き、自分なりの時間配分や解く順番を見つける練習を繰り返しましょう。毎日1問でも継続して触れることで、解答のスピードと精度が向上します。

Step 3：実力完成・総仕上げ

模擬試験

- 獲得目標: 本番さながらの演習を通じて、時間配分や解答戦略を確立し、合格力を完成させます。

- 標準学習時間: 模擬試験（3時間）と、全問に対する解説講義（約8時間）の受講・復習。
- 具体的な学習方法: 本番と全く同じ3時間で解き、時間配分、解く順番、マークミスの有無などを厳しくチェックします。試験後は点数に一喜一憂せず、間違えた問題や時間内に解けなかった問題を徹底的に復習することが最も重要です。解説講義を視聴し、自分の弱点を洗い出して最後の追い込みに活かします。

第**3**部：合格後のキャリアと実務

行政書士試験に合格すると、大きく分けて「独立開業」と「行政書士事務所や企業に勤務」という2つの道が開かれます。どちらの道に進むにせよ、試験で得た法律知識に加えて「実務能力」を身につけることが成功の鍵となります。

1. 独立開業行政書士

行政書士の最も代表的な働き方です。自身の裁量で仕事を進められ、定年もありません。成功すれば高収入を目指せる一方で、自ら営業して顧客を獲得する必要があるなど、経営者としてのスキルも求められます。

- 開業までの主な流れ:
  1. 行政書士登録: 合格後、日本行政書士会連合会に登録申請を行います。これには登録免許税や入会金など、約30万円程度の費用が必要です。
  2. 事務所の準備: 自宅や賃貸物件で事務所を開設します。看板の設置、PCやプリンター、専用電話回線の準備などを行います。
  3. 営業活動: ホームページの開設、SNSでの発信、交流会への参加などを通じて、自身の専門分野や人柄を知ってもらい、顧客を獲得します。

開業当初は、全ての業務を一人でこなす必要があります。そのため、いきなり開業するのではなく、まずは事務所に勤務して実務経験を積むケースも少なくありません。

2. 勤務行政書士（補助者）

行政書士事務所や、司法書士・弁護士事務所、企業の法務部などで働くキャリアです。

- 行政書士事務所・法務事務所: 先輩の行政書士の下で「補助者」として働きながら、実務のノウハウを学びます。安定した収入を得ながら実務経験を積めるため、将来の独立開業に向けたステップとして選ぶ人が多いです。
- 一般企業の法務部: 企業活動に関わる契約書の作成・レビューや、許認可の管理など、法律知識を活かして活躍できます。

3. 先輩合格者の声

あなたの少し先を歩む先輩たちの体験談は、学習のヒントとモチベーションの源泉になります。

- **Case 1**：仕事・育児と両立し、スキマ時間学習で合格！

  - 学習スタイル: 平日の通勤中や昼休み、子供が寝た後の2〜3時間のスキマ時間を活用。
  - 合格の秘訣: 講義時間が短く区切られているアガルートの講座は、スキマ時間での学習に最適でした。豊村講師のランク付けを信じ、A・Bランクを中心に徹底的に反復。苦手だった条文も「逐条ローラーインプット講座」で克服できました。
  - 後輩へのアドバイス: 「講師と教材を信じ、言われたことを素直にやることが合格への近道です。」
- **Case 2**：法律知識ゼロから記述式を得点源にして合格！
  - 学習スタイル: 「入門総合講義」で全体像を掴んだ後、すぐに過去問演習に着手。インプットとアウトプットを常に並行して進めることを意識。
  - 合格の秘訣: 特に記述式対策に力を入れ、「記述過去問解析講座」を繰り返し解き、解答の型を身体に覚え込ませました。その結果、本番では記述式で高得点を獲得できました。
  - 後輩へのアドバイス: 「教材を浮気せず、一つの教材を完璧になるまでやり込むことが大切です。」
- **Case 3**：**60**代で新たな挑戦！見事一発合格！
  - 学習スタイル: 毎日決まった時間に机に向かうことを習慣化。年齢を考慮し、講義を1.5倍速で何度も聴き、耳から覚えることを意識。
  - 合格の秘訣: オンラインで自分のペースで学べる点が魅力でした。音声学習で条文を何度も聴くことで、自然と知識が定着。模擬試験をペースメーカーとして活用し、本番の戦略を練り上げました。
  - 後輩へのアドバイス: 「『合格する』という強い意志を持ち続ければ、年齢は関係ありません。計画を立て、着実に実行すれば道は開けます。」

4. 合格後に必須となる「実務能力」

行政書士試験の知識だけでは、実際の業務をスムーズに進めることは困難です。顧客への対応方法、書類作成の具体的な手順、役所との折衝など、教科書には載っていない「実務の作法」を習得する必要があります。

- アガルートの実務講座で学べること:
  アガルートでは、合格者を対象とした「実務・開業講座」を提供しており、以下のような実践的なスキルを学ぶことができます。
  - 実務の基礎:
    - 顧客からの依頼の受け方、相談（コンサルティング）の進め方
    - 業務に必要な「要件調査」と「添付書類」の収集方法
    - 正確な申請書を作成するためのテクニック
  - 主要業務の具体的な進め方:
    - 建設業許可申請: 最も代表的で高単価な業務の一つ。申請要件の確認から、複雑な書類の作成、提出までの一連の流れを学びます。
    - 会社設立: 定款の作成・認証から、登記申請（司法書士連携）までの流れを学び

ます。

        - 相続・遺言: 遺言書の作成支援や、遺産分割協議書の作成など、民法知識を実務に活かす方法を学びます。
    - 営業・マーケティング:
        - 自身の強みを見つけ、専門分野を確立する方法
        - ホームページやSNSを活用した効果的な集客戦略

これらの実務能力を身につけることで、顧客からの信頼を得て、安定した事務所経営やキャリアアップにつなげることができます。